



2026年9月5日 礼拝メッセージ 菅原亘牧師

みことば: 第Ⅰ テモテへの手紙4章1節～16節。

メインタイトル: 交わりの回復

サブタイトル: 「終わりの時代は惑わしの霊が横行します」

先週は神戸グローバルギャザリングも祝福の内に終え、多くの奉仕者も与えられました。日本と世界がキリストの花嫁として整えられ、福音宣教が遅々として進んでいない日本が慰められ、その福音の戦いの労苦は癒され2倍の祝福を得る時が来るのです。神戸条約が交わされました。それは永遠に変わらぬ神の愛が日本全体を覆い神の愛の統治が始まる条約が神戸の地で交わされました。

さて使徒パウロは弟子のテモテに具体的な教えを与えています。信徒への手紙ではありません。かなり具体的な内容です。キリストの教会の指導者は以下にすべきかが書かれているのです。新約聖書が完成されていない初代教会時代には様々な教えが進入してきて何が正統なのか分からなくなって来た。

1・終わりの時代の特徴

惑わす霊と悪霊の教えが横行する。そして信仰から離れる人がいます。
マタイによる福音書24章4節～5節、11節、24節(終わりは惑わしの時代)
ガラテヤ人への手紙1章6節～9節(ユダヤ主義、律法主義の教えに対して)
第一ヨハネの手紙4章1節～6節(グノーシス派の2元論の教えに対して)
SNSを通して様々な教えを聞くことが出来る時代です。中には極端な教えがあったりしますから守られますように! 既成の教会を否定、批判することは要注意です。自分の教えが正しいと強く主張する人は要注意です。
第二コリント人への手紙11章13節～14節。

2・嘘つきどもの偽善、良心が麻痺している。

結婚を禁じる教え。食物を断つ教え。
感謝して食べるなら捨てるべきものは何一つない
神のことばと祈りによってきよめられる。
使徒の働き15章1節～20節、28節～29節。
「偶像に捧げた食物、血、絞め殺したもの、不品行」を避ければそれでOK

3・空想話を避けなさい。(系図、無益な議論、

第一テモテへの手紙1章3節～4節。
第二テモテへの手紙4章4節～5節。
テトスへの手紙1章14節。
第一テモテへの手紙6章20節。俗悪な無駄話。霊知(グノーシス主義)